

人権啓発DVD

●マイノリティの声が女性差別撤廃条約を変える！

私らしく マイノリティを 生きる

女性差別撤廃条約のいま

国連・女性差別撤廃条約は、できてから30年以上たちますが、生きている国際条約として日々発展しています。この作品では、複合的な差別を乗り越えようとする当事者たちが登場します。2009年女性差別撤廃条約日本報告書審査で、女性差別撤廃委員会は、「尊厳を持って生きたい」「平等になりたい」と訴えるマイノリティ当事者の声を正面から受け止めました。当事者の声が条約を変える大きな原動力となっているのです。

- 人権教育や男女平等教育用ビジュアル教材として活用できます。
- 学校、市民啓発、企業研修など多様な場で使うことができます。

対象
中学生
以上

DVD20分 ● 解説書付き ● 価格10,000円+税

企画・制作 人権啓発DVD制作委員会 (部落解放同盟大阪府連合会/部落解放・人権研究所)

製作 ビデオ工房AKAME

2013年
2月
発売!

●マイノリティの声が女性差別撤廃条約を変える!

私らしくマイノリティを生きる

女性差別撤廃条約のいま



シングルマザーで生きる

和田なつきさんは、高校2年生で妊娠し出産しました。高校は育児をしながら卒業し、今はシングルマザーです。高校を卒業後、中学校の介助職員として働いていますが、生活に余裕がなく実家で両親と暮らしているので何とかやっていけます。和田さんは部落の青年としての活動にも積極的に参加しています。

性を越えて生きる

茂木あゆむさんは、女の子として生まれましたが、幼い頃から自分の身体に対して違和感を持っていました。特に中学校に入ってから、男女の違いがはっきりしている制服着用に苦しみ、5年間クリニックに通いました。現在は同じような悩みを持つ仲間と出会い、徐々に自分の立ち位置を定めて、男性として特別養護老人ホームで働いています。



マイノリティの声を政治に届ける

岡井すみよさんは、大阪の高槻市役所に27年間勤務しました。主に社会教育、青少年の育成を担当し、やりがいを持って仕事をしてきました。しかし、2010年に市役所を退職し、先輩議員や地域の仲間の応援を得て翌年の春、市議会議員に選出されました。子ども、女性、高齢者、障がい者など少数者の声を政治の場に届けるためです。

マイノリティ女性たち、日本報告書審査の場へ

部落、沖縄、アイヌ民族、在日コリアン、移住女性などマイノリティ女性たちはネットワークをつくり、自分たちがおこなった実態調査の結果を持って、2009年ニューヨークに行きました。女性差別撤廃委員会に自分たちの状況を伝えるためです。



条約実施を見つめる

林陽子さんは弁護士であり、女性差別撤廃委員会委員として条約を実現していくため積極的に発言しています。日本は1985年に条約を批准していますが、民法などに条約の趣旨に違反する法律が残されていること、選択議定書の批准など課題は山積みしていると考えています。



・お問合せ・お申込みは

(映) 有限会社 博映商事

TEL 092-741-0306 FAX 092-741-6628

〒810-0073 福岡市中央区舞鶴1-3-31-220

【HP】 <http://hakuei-shoji.jp> 【E-Mail】 info@hakuei-shoji.jp